

「(仮称)ヴェロマルチ山口」設立趣意書 (案)

謹啓 皆様におかれましては未曾有の災禍にありましてもますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素から自転車のある生活に関心を寄せて頂き当事者の一員として御礼申し上げます。

その移動や趣味の道具、「自転車」に乗って使うことを表す「サイクリング」に相当する日本語をご存じではないでしょうか？因みに国際自転車競技連盟／UCIのルールブックには「サイクリングとは、レースを含むスポーツサイクリング全般」とあります。

工業製品としての「自転車」はもちろん、「自転車走行環境」、「自転車利活用」、「自転車乗操心得」など、ハード、インフラ、ソフト、ハートの4要素や、歩道走行問題再燃時に「自転車には、歩行的利用と自動車の利用の二面性がある」と警察見解が出されたように、「サイクリング」の概念の修正は無理でも、以下のような多様性の中の二面性は共通認識化する必要があると思います。

- ◆多様性の中の二面性 ◎ハード：自転車 // 軽車両 ⇔ スポーツ機材
- ◎インフラ：走行環境 // 一般道 ⇔ 専用道
- ◎ソフト：利活用 // 日常利用 ⇔ スポーツ利用
- ◎ハート：乗操心得 // 自転車市民権 ⇔ 自転車多様性

それは、自動車より身近で、歩くより広範移動できる「自転車」の利活用を考える際、『日本の自転車走行環境の実情』が浮上し、議論が先に進まない場面が多々あるからです。

その『日本の実情』は、進まないインフラ整備、手付かずのソフトの標準化、他人任せのハートの啓蒙活動など、第一次サイクリングブームから潜在する「サイクリングの曖昧な法的根拠」という課題に、コロナ禍で見えたハードの供給体制崩壊も加えたものです。

つきましては多様性の中の二面性を踏まえて、「自転車のある生活」に多角的に取り組む地域貢献型の団体を新たに立ち上げたいと考えており、また先の見えない状況で互いに支えあう必要性も痛感しており、是非とも当団体の設立趣旨に、ご理解、ご賛同を頂き、後援や情報提供等、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和四年二月吉日

(仮称)ヴェロマルチ山口発起人一同

団体設立概要

- 一、団体概要／目的、組織、事業 (連絡先／発起人)
- 二、工程表と補足
- 三、資料／山口きらめき財団前回申請書抜粋
／廃校再生サミット山口説明会資料抜粋

案

<(仮称)ヴェロマルチ山口>

●目的／子供の玩具、最も身近な市民の足、第一回近代オリンピック正式種目、そして世界一周の相棒、等々、多様に楽しめる「自転車」は、走行環境の整備、利活用方法の提案、乗車や操作や心得の習得も欠かせません。しかし自転車走行環境の課題は、昭和から平成・令和と時代が進んだ今も『日本の実情』として変わらず潜在し、「サイクリング」の法的根拠も曖昧なままです。その自転車走行環境を、ハード・インフラ・ソフト・ハートの4要素で考える、ユーザー+ショップ+地域が三位一体となった、“地域貢献型マルチサイクリングクラブ”として当会は、「情報発信」「人材交流」「提案型ソフト」を三本柱に、日常利用とスポーツ利用の架け橋となり、一般道の自由使用の範囲の拡大に繋がる自転車市民権の獲得と自転車多様性の共通認識化を、「先行山口」として目指します。

●組織・活動／目的の達成のため、下記の組織を有し、必要に応じて、イベント情報誌の発行や、提案型イベント等を行います。

◎理事会／代表理事1名、副代表1～2名、事務局4～10名、分科会5～10名、顧問3～5名
⇒情報誌編集に合わせて理事会を行う。

◎事務局／総務、広報、企画渉外編集（西部、県央、東部）、会計
⇒主に三本柱の『情報発信』を担当。

◎分科会／交流1（ソフト&ハード）、交流2（ハード&インフラ）、事業（セルフ・架け橋・混淆・ライセンス・他）
⇒三本柱の『人材交流』と『提案型ソフト』を担当。

○外局（提案型ソフトで、法的根拠が曖昧なものや一般道の目的外使用に対応する外部組織）

街道	山道	町の道	ザッピング	チョイス	架け橋	その他
<small>ロングライドファストラ</small>	<small>トレイルメンテナンス</small>	<small>トレジャーハント26</small>	<small>ゲーム旅</small>	<small>スペシャルサイクリング</small>	<small>クローズド&オープン</small>	<small>法的根拠</small>

⇒『提案型ソフト』は玉石混淆ソフトの見極めが必要で、外局では、グループサイクリングや山道走行、ツーリングコンペティション等を扱う。また地域と広域の守備範囲を考えながら外部顧問も置き、必要に応じてサイクリング大会や競技会にも対応する。

※例：「地域／やましろ杉道研究会」⇔「広域／日本自転車環境整備機構」

※自由使用と目的外使用と地域貢献：一般道の自由使用の範囲で自転車のある生活を考える「Think Cycling」。道の種類や道の目的外使用も意識しながら自転車の可能性を考える「Think VTT」。そして自転車速度で移動しながら地域の文化や自然を見つめ直す「Velo Multi Maintenance」。理想は自転車スーパー先達が所属する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」が、それらをバランス良く担うことだが、『日本の実情』ではそれが難しい。そこで個人や輪界や行政など、自転車利活用の立場を超えた『サイクリングネットワーク再構築』を改めて訴えたい。

※上記の「Cycling」は、UCIの定義「サイクリングとはレースを含むスポーツサイクリング全般」と、日本人のイメージ「のんびりサイクリング」を比較し、日本の実情を俯瞰したもので、「Think Cycling」として当会が取り組む。

※上記の「VTT」は、フランス語のMTBにあたる全地形型の自転車「Vélo tout-terrain」を、地球の全てを遊ぶ自転車「Vélo pour tout jouer sur terre」と拡大解釈したもので、「Think VTT」として外局の守備範囲とする。

<問い合わせ・連絡先>

発起人代表：弘重公朗／〒742-0021 柳井市天神並木通りCSヒロシゲ 0820-22-0645

事務局担当：國安博之／〒753-0214 山口市大内御堀4044-8 博友舎 083-927-7922

分科会担当：石丸英明／〒740-0036 岩国市藤生町1-30-6 コースクリエイト山口 090-3170-6658

Fax 03-6368-4661 URL <http://www.bike-joy.com/VMYc.htm> E-mail bikejoyq@mbr.nifty.com

◎発起人候補（順不同）／弘重公朗（柳井市）、志賀孝治（山口市）、福永一生（岩国市）、棟久明博（山口市）、松岡稔（美祿市）、内富哲男（下松市）、常原圭介（柳井市）、石丸英明（岩国市）、井上桂（下関市）、明日香健輔（山口市）、國安博之（山口市）、為近光夫（宇部市）、光永尚弘（山口市）、三明由嗣（山口市）、市川雅浩（下松市）、村中淳夫（岩国市）、永田昌秀（長門市）

(別紙1)

団体概要書

ふりがな	やまぐちさいくわんどうプロジェクトけんがくかい	ふりがな	ひろしげ きみあき
団体名	山口サイクリングプロジェクト研究会 準備会	代表者職氏名	役職：発起人代表 私重 公明
団体所在地	〒742-0005 山口県柳井市天神 14-22 サイクリング・サロン・ヒロシゲ内		
設立年月日	2020年3月11日	会員数	8人
団体の設立趣旨や活動目的	「山口サイクリングプロジェクト研究会」は、最も身近な市民の足でありながらその法的性質が曖昧な自転車道の走行環境を、ハードソフト・インフラ・ハードの4要素で考える、ユーザー・ショップ+地域が三位一体となったスーパー先達の推進する「地域貢献型マルチサイクリングクラブ」です。 そして、各方面の人材交流と情報交換を行うハブ組織として、その走行環境の改善や整備を実現するために必要に応じて情報発信や提案型イベント等を行います。		
活動地域	山口県内（※他団体との連携や出張も実施）		
3年間の主な活動	平成30年度(2018)	※有志による意見交換（サイクル展やまぐちの后继企画の模索）	
	令和元年度(2019)	※有志による意見交換（有志ミーティング/前市への提言/サイクルサイン/他） ※提案型イベントの実践（THT26が150メモリアル/オレンジロワイヤール/ラカアール） 団体の事業規模（事業費総額） — 円	
	令和2年度(2020)	※スポーツサイクリングファンクラブ発足の作成 ※スポーツサイクリングファンクラブ・夏号・秋号・冬号の編集配布 ※提案型イベントの実践（THT26が150メモリアル/オレンジロワイヤール/ラカアール） ※ホワイトミーティングの開催（第一回総会） 団体の事業規模（事業費総額見込） 500,000 円	
	令和2年度以降の活動計画	四季に合わせた情報発信フリーメンバーを通じて情報交換と現状分析を行いつつ、日常利用からスポーツ利用へ、ソロ活動からグループ活動へ、サイクリング活動のステップアップの必要性を訴える提案型イベントも仕掛ける。 ※SCFanClub 春夏秋冬の編集配布およびホワイトミーティングの隔年実施 ※巡回スクール＆メンテナンス、THT26が150メモリアルナカスト、オレンジロワイヤール、他 ※Web展開（※スーパー先達の育成やソロの経験者など、コンテンツの実践が事業になった場合）	

※活動実績、活動計画には、地産物産に申請しようとする事業以外のものも含め、団体の中心的な活動を記入してください。活動実績がない場合は空欄としてください。

(別紙2)

事業計画書

申請する事業の名称	山口サイクリングプロジェクト研究会設立に向けた「情報発信フリーメンバーの編集発行」および「第一回総会の実施」		
事業の実施期間	2020年 5月 20日 ~ 2021年 3月 20日		
事業の概要	いつ・どこで・何を・どのような方法で行うかを記入してください		
月	実施する内容・方法	場所・参加者等	
5月~6月	☆情報発信フリーメンバーの編集配布→※※への提言（※※内情報集約版） スポーツサイクリングファンクラブ夏号→6月20日配布（特集：街道系企画） 取材→編集→印刷→配布	※他団体/ショップ/サイクルステーション/観光地等/他 茶室内の小中高大、全ての学校にも配布したい。	
8月~9月	スポーツサイクリングファンクラブ秋号→9月20日配布（特集：山道系企画） 取材→編集→印刷→配布		
11月~12月	スポーツサイクリングファンクラブ冬号→12月20日配布（特集：町の道系企画） 取材→編集→印刷→配布		
想定は10月下旬/下旬/中旬/中旬/中旬	☆第一回総会の開催（ホワイトミーティング） 日程：2021年1月23日（土）予定 場所：山口市近郊 議題：設立に向けた要件の確認、他 ※準備室で議事内容を事前整理	※他団体/前市サイクルステーション/美術系図書館/フレッシュパーク/萩市教育委員会/山口市教育資料館	
	☆提案型イベントの実践 ・THT26が150メモリアル/ナカスト→時の流れ、城下町長寿、田中旗徳義理10R、12R、3月両月予定（別紙表紙/アベック5R+M26R） ・オレンジロワイヤール→※※からMTBウェスティブル11R下り向道予定（別紙表紙/オレンジロワイヤール/高橋大介+M26R） ・チヨイス尾山ワイルドワーズから山頂までトレイルライドツアーズ ※ミニツアー/ミニツアー/ミニツアー/ミニツアー （別紙表紙/やまぐちMTBツアーズから山頂までサイクリングステーション/高橋大介）		
	☆Web展開の検討 （※内情報集約版からコンテンツ充実版へ!）		

「自転車観光メンテナンス」と「先行山口」

廃校再生サミット山口 打ち合わせ資料

【P1】グローバルとジャパン
 1) トイレメンテナンスとツーリングコンペティション
 2) サイクリングの法的根拠/自動車利用と歩行者利用
 3) 昭和の駅前サイクリングマップ看板の実情の打破

【P2】ゲーム旅と明治維新150周年
 4) 町と里と生活環境バランス
 5) 大人の社会見学/点検面

【P3】先行山口と転遊研
 6) THT26◆自転車さんぽ
 7) 街道・山道・町の道・ザッピング
 8) タスクフォース除封降海

【資料】
 先行山口/全県企画/限定地域企画/全国展開視野企画
 時めぐり萩リターンズ2015/マップ/問題/リザルト
 ワンダリングZ山代2021/チラシ/マップ/問題

いわくに研究会
2021/12/18
<0>

…先行山口…

「ゲーム旅」のベースは「THT26◆自転車さんぽ」です。MTB ライレードでは課題山積みのため、日本の実情に合った自転車遊びとして、年齢性別車種不問、主催者の大小を選ばない、警察も追認する速報みルールのものを、転遊研という緩い集りの仲間と一緒に考えました。

今回はその応用提案になります。

別紙先行山口の、「①Think Cycling」「②Think MTB」「③Closed & Open & Zapping」は、「街道」「山道」「町の道+ザッピング」に対応しています。そして以下のような組み合わせを考えてあり、皆様と実現可能な内容を検討出来ればと思います。

街道	サイクルショップ+サイクルステーション	スペシャルサイクリング
山道	MTB 企画が地域を救う！成米での実例は枚挙にいとまはないが、失われた30年同様、全く進展が乏しい。そこで構想25年のリバイブフィールドを、限定地域企画として、山代羅漢江エリアで試みる。ツアーやラリーの定期開催を目指す。	リバイブフィールド
町の道	いわ研プラス日本自転車環境整備機構	150トーナメント
ザッピング	いわ研プラス廃校再生サミット山口	ワンダリングZ山口→防長三白

自給自足の再現、たとえば、大要変換かもしれないが、毛繕は少なくともそれで国力を付けた。日本人の遺伝子には「田」と言えば「藩」が今でも残るが、それも薄れる。米作適地で森林資源や海千山々の豊かな郷土の、地理、歴史、産業を、自転車速度やファミリー単位の「ゲーム旅」で見直す「タスクフォース除封降海」として提案。

二協力の対談録

先行山口は、左図、毛利チャレンジ2018を組み合わせる提案の中で考えたのですが、今回はそれを前面に組み立てます。

その中で、自転車関連以外の活動団体と知り合えたことは、可能性を上げ、また、山口県を見直したとき、県西部、県央、県東部で、その特色が異なり、そこに、廃校再生サミット山口、サイクルステーション、そしてサイクルショップが、バランス良く点在することも、企画のベースになると思います。

さらに、ドライブバージョンでは、買い物タスクや、グルメタスクも可能で、地元産品を取り扱い施設のPRにも繋がります。

<3>